

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成29年度第4回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成29年10月24日（火）午後7時 ～ 9時
開 催 場 所	ボランティア・市民活動センター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：渡辺龍也、藤崎由美子、比留間多一、高橋誠、一色健次 金澤知子、清野智美、瀬口圭志、高尾典之、比留間毅浩 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	第3回武蔵村山市市民協働推進会議の会議結果について
議 題	平成30年度実施事業プレゼンテーション
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	（平成30年度実施事業プレゼンテーション） 提案団体によるプレゼンテーションを2団体実施した。 （その他） 第5回会議は10月26日（木）午後7時から、ボランティア・市民活動センターで開催する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発信者） □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局 △印：提案団体	平成30年度実施事業プレゼンテーション 事業番号29-1 団体名：MSP 村山サポートプロジェクト 事業名：むさむら ゴミ減大作戦 -提案団体によるプレゼンテーション ○ 席上に配布されたチラシは。 △ ゴミ減量の意識啓発のため、イベント等で配布したいと考えているチラシのサンプルである。 ○ フリーマーケットはゴミ減量の手法として、従来からいろいろな場所で開催されているのでは。 △ 以前は市内で頻繁に開催されていたが、現在は市内でのフリーマーケット開催は少なくなっている。 ○ フリーマーケットの開催場所が大南地域に偏っているように感じる。 △ 以前中原地域でイベントを開催した際に、集客が思わしくなかった。まずは集客が見込める地域で実績を作ってから、他の地域にも広めていきたいと考えている。 ○ 実施する地域や対象市民が限られてしまうのは問題ないのか。 ● 将来的に他の地域に広めていくことを前提に、まずはきっかけとして特定の地域で実施するというのであれば問題ない。 ○ 市に求める役割として、フリーマーケットで売れ残った商品の回収と処分を挙げている。 △ 原則として出品者が持ち帰ることとするが、売れ残った商品の中に資源になるものがある場合は、市に回収していただきたいと考えている。 ○ リサイクルやフリーマーケットをインターネット上で手軽に行えるア

プリが流行しているが、それらとは違うメリットがないと人や物が集まらないのではないか。

△ 高齢者など、インターネットやスマートフォンに不慣れな人でも参加できることがメリットであると考えているので、アピールしていきたい。

○ 出店料は徴収するのか。

△ 1区画あたり千円を徴収する予定である。

□ 市に求める役割とは、将来的に協働型事業として実施した場合のことか。

△ そのとおり。

○ キッズフリマ開催の際も、出店料を徴収するのか。

△ キッズフリマでは出店料の徴収はしない予定である。ただし、キッズフリマは子どもが自主的に参加することを前提としている。

○ フードドライブで回収した食品は、どこに渡すのか。

△ 社会福祉協議会を考えている。

○ 市の公表によると、市内のゴミ排出量は徐々に減っているとある。

△ 回収されていない潜在的なゴミがあるため、必ずしも減っているとは思っていない。

○ 生ゴミの堆肥化も行うのか。

△ 臭いの問題等があるため、現在は考えていない。

○ 他市では、有料化によりゴミ減量を推進している。

△ 有料化は最終的な手段であり、まずは市民にゴミ減量の意識を持ってもらうために本事業を実施したいと考えている。

□ 水切りによる減量の計算が合っていないのではないか。

△ 全員が水切りをしてくれるわけではないと思うので、計算に少しズレがある。

□ 事業実施にあたり人員体制に問題はないか。

△ イベントごとにボランティアを募集するので、十分実施可能であると考えている。

事業番号 29-2

団体名：みつつのわ

事業名：みつつのわ ～三ツ藤から始めよう～

-提案団体によるプレゼンテーション

○ 従来から自治会と連携しているのか。

△ 今年度のもちつき大会は、三ツ藤自治会と共催する予定である。

○ 国際交流とあるが、現在外国人とのつながりはあるのか。

△ 以前語学教室に携わっていた関係で、外国人とのつながりを持っている。

○ 語学の講座は、何語があるのか。

△ 英語、フランス語、中国語等である。

○ 多世代交流を目的の一つとしているが、イベントの開催を木曜日に限定してしまうと参加者が固定されてしまうのではないか。子どもから高齢者まで幅広く集客できる日程の検討も必要ではないか。

△ 毎週開催するイベントだけでなく、ハロウィンなどの季節に合わせたイベントを日曜日に開催することも検討している。

○ 協働事業終了後も継続していくためには、自己財源の確保が必要では

	<p>ないか。</p> <p>△ バザーや物販による収入を検討している。</p> <p>□ 協働事業終了後は、資金に限りがある中で報償費等を支払わなければならない。負担にならないように、協働事業のうちから報償費の額をもう少し低く設定しておくなどの工夫が必要である。</p> <p>○ 参加費を徴収し、報償費に充ててはどうか。</p> <p>△ 検討したい。</p> <p>○ 企画書では延べ1,000名以上の参加を目指すところがあるが、予算書では参加費を480人分しか計上していない。</p> <p>△ 1,000名以上の参加とはあくまで目標であり、予算については低めに見積もったものである。</p> <p>○ 現在の参加者は三ツ藤地域の住民が中心か。</p> <p>△ そのとおり。</p> <p>○ 広く参加者を集めるためには、広報の強化が必要である。</p> <p>△ 現在は口コミが主な広報手段である。今後はフェイスブック等のSNSも活用していきたい。協働型事業になったら、担当課には広報の協力を特にお願ひしたいと考えている。</p> <p>○ 地元の協力者とは、どのような人か。</p> <p>△ 自治会長等である。</p> <p>□ 事業実施を通し、団体の規模を拡大していくことは考えているのか。</p> <p>△ もちろん考えている。賛同者や協力者を増やし、団体として発展していきたい。</p> <p>○ 現在は三ツ藤自治会館を中心に活動しているとのことだが、将来的には別の場所に広げていくつもりか。</p> <p>△ そのとおり。</p> <p>○ 活動を広げていくためには、人員がもっと必要ではないか。</p> <p>△ 当面は、活動の中心になる10名程度のメンバーと、イベントごとのボランティアスタッフで事業を実施していきたい。</p> <p>□ 協働型事業になった際の展望を教えてください。</p> <p>△ 多世代交流、国際交流等が主な目的であるので、協働推進課を担当課として、人のつながりやふれあいの場を提供する事業を実施したいと考えている。</p> <p>その他</p> <p>● 第5回会議は10月26日（木）午後7時からボランティア・市民活動センター会議室で開催する。</p>
--	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>（ ）</p> <p>傍聴者： 0 人</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：)</p>
---------------------	---

	<input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： ）
--	---------------------------------------

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 （内線： 242 ）
-------	------------------------

（日本工業規格A列4番）